

運動実践家の立場からみた災害後における運動実施の課題（１）

- 「東日本大震災における被災地での運動・スポーツによる身体的・精神的支援および活用方策に関する調査研究事業」のデータを利用した統合的考察 -

侘美俊輔

●要約

2011年3月11日に発生した東日本大震災発生後の避難所、その後の被災地において多くの運動実践家たちが、被災住民とともに「運動」を実施していた。しかしながら、こうした取り組みが運動実践家の視点から議論されることはほとんど無かった。

そこで本稿では、「財団法人健康・体力づくり事業財団」が実施した「東日本大震災における被災地での運動・スポーツによる身体的・精神的支援および活用方策に関する調査研究事業」と、「運動実践家の立場からみた震災後における運動実施の意義 - 健康運動指導士による討論会の会話分析を事例として - 」を質的記述的に分析する。その結果として、災害時の「運動の実施」に向けた課題、解決の方向性を提示する。

●キーワード

運動

健康運動指導士

東日本大震災

避難所